

# 美旗市民センターだより 1月号

発行/美旗市民センター 住所/〒518-0616 名張市美旗町南西原229-3 TEL&FAX 0595-65-3007 2018(H30)年1月6日  
http://www.emachi-nabari.jp/mihata/kouminkan Email: mihata-ko@emachi-nabari.jp FACEBOOKにて情報発信中!!

## 第6回美旗市民大学講座

12月2日(土)午後1時30分より三重県立相可高校の村林先生をお迎えし、「人も料理も仕込み次第」と題して講演いただきました。

テレビの「高校生レストラン」でもお馴染みの先生は松阪出身で24年前に相可高校に赴任され、その後は高校生に料理のイロハを徹底的に教え、「まごの店」というお店を出すまでになりました。平日は学校で調理の練習をし、「まごの店」で発表するという場であると先生はおっしゃっていました。

大事なのは、普段からきちっとやっている結果が出るということです。



また、海外で日本料理を提供したり、伊勢志摩サミットでもワーキングランチを受け持つなど、活躍の場は限りなく広がっています。



平成三十年 元旦

美旗市民センター館長 山中 功  
職員一同

今後共ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

「地域づくり」「地域福祉」「生涯教育」の地域活動拠点として、その役割を認識し、まちづくりと連携して一層の発展に向け、職員一同諸事業に取り組んで参りたいと思っております。

皆様には厳かに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。皆さまにとって良き一年となりますようご祈念申し上げます。市民センターは、昨年二十周年の節目の一年を迎えましたが、これもひとえに地域の皆さまの長年に亘るご支援、ご協力の賜物であり深く感謝を申し上げます。

あけましておめでとうございます



## 朝学モーニング

12月5日(火)9時~10時

今回は、美旗中村どんど保存会会長の高波秀彦さんにお話いただきました。

昔から美旗中村で続いている「どんど」は、新春の伝統行事として現在でも行われていますが、その行事を継続して行うには、様々な努力をされています。まず藁の確保には、田んぼをどんど用に残しバインダーで刈取り、手作業で束ねて保管します。

また、昔は子どもだけで作っていたが、「どんど」の保存会を作り現在に至ったことなど、「どんど」にかける思いを熱く語っていただきました。

正月早々の美旗中村の「どんど」は1月6日どんど立て 8日点火(美旗中村農村公園)

美旗まちづくり協議会の「どんど」1月13日どんど立て14日点火(美旗市民センター前の田んぼ)



美旗中村どんど保存会 会長 高波秀彦さん



